

ご挨拶

第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会大会長
長崎大学医歯薬学総合研究科小児歯科学分野教授

藤原 卓



会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて第25回日本小児歯科学会九州地方会大会ならびに総会を長崎で開催することとなり、関係者一同にとりましてこの上ない喜びであります。

本大会の最大の特徴は、学会場であります長崎県歯科医師会館から徒歩2分の長崎ブリックホール他で、11月24日、25日に長崎県歯科医師会の主催で第24回日本障害者歯科学会の学術大会が同時に開催されることです。平成19年の地方会大会開催の話をいただいたとき、長崎で日本障害者歯科学会の学術大会の開催が予定されていることを聞き、小児歯科学会と他学会との連携を図るために、同じ時期に開催できないかと考えました。幸い長崎県歯科医師会の道津会長と、障害者歯科学会の森崎理事長はじめ、関係の皆さまのご理解とご協力によって同時期の開催を実現することができました。ここに改めて御礼申し上げます。本大会は地方会で、障害者歯科学会は全国会と規模の違いはありますが、小児歯科と障害者歯科には共通点も多く、連携を図ってゆくにはよい機会と考えております。懇親会もこれまでとちがい、地方会前日に障害者歯科学会と合同で行うこととしました。多くの関係者と懇親を図る機会にぜひしていただきたいと思っております。

プログラムもテーマを『小児歯科における障害の受容』とし、北九州市立総合療育センター歯科部長の武田康男先生に「障害をもつ子供の家族への受容支援」を、前長崎大学病院小児科准教授（遺伝カウンセリング室）の近藤達郎先生に「遺伝カウンセリングとそれを通じた障害の受容支援」を御講演いただきます。またコデンタルセミナーとして東京都立東大和療育センター歯科衛生士の水上美樹先生による「障害児の摂食・嚥下指導」を予定しております。

さらに長崎では、長崎小児歯科臨床医会を中心に小児歯科医と地域の連携を模索しております。その総括として臨床医会会長の有田信一先生による「地域に根ざす小児歯科専門医」と題する教育講演を企画しております。

小児歯科は子どもを中心として、いろいろなところとの連携の核になれるべきものだと確信しております。本学会が、そういったいろいろな連携について考えていただくきっかけとなればよいと期待しております。

終わりに、本会の趣旨をご理解いただきご支援頂きました多くの団体、企業、大学の関係各位にお礼を申し上げます。

難しいことはさておいて、長崎に来れば、おいしい食べ物も沢山あり、“一粒で二度も三度もおいしい”ということでもあります。どうぞ皆さまのおいでを関係者一同お待ちしております。